

授業科目 呼吸・循環・代謝系治療学

| | | | | |
|--------------------------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】 大竹朗, 松永篤彦, 瀬崎学, 小島肇 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 理学 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

1. 呼吸循環代謝系疾患の理学療法を実施できる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 呼吸器疾患の理学療法の基本治療方法を説明でき、かつ基本的な治療を実施できる。
2. 循環器疾患の理学療法的基本的治療方法を説明でき、かつ基本的な治療を実施できる。
3. 心電図の基本的知識・技術を説明でき、かつ心電計の基本的操作を指導援助を受けて行える。
4. 代謝疾患の理学療法の基本治療方法を説明でき、かつ基本的な治療を実施できる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|------|--|------|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 呼吸器疾患の理学療法の基本理論と治療の実際 概説, 呼吸生理, 基礎的評価, 慢性閉塞性肺疾患の病態と理学療法 | 1 | 講義(実習) 瀬崎学 |
| 2, 3 | 呼吸器疾患の理学療法の基本理論と治療の実際 運動耐容能の評価, 呼吸機能, 摂食・嚥下障害, EBMからのアプローチ | 1 | 講義(実習) 小島肇 |
| 4, 5 | 呼吸器疾患の理学療法の基本理論と治療の実際 周術期の理学療法, 人工呼吸器とそのモニタ, 呼吸困難感, 呼吸器疾患患者のADL | 1 | 講義(実習) 大竹朗 |
| 6 | 循環器疾患の理学療法の基本理論と治療の実際 | 2, 3 | 講義(実習) 松永篤彦 |
| 7 | 代謝疾患の理学療法の基本理論と治療の実際 | 4 | 講義(実習) 椿淳裕 |

※進行状況によっては補講を行う場合もある。

理学療法学科
専門

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--|---|-------|-------|--------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | 内部障害系理学療法学, 居村茂幸(編), 医歯薬出版, 2006年, ¥4,200(税込み) | | | |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | | | | |
| 【評価方法】 出席, 授業参加態度, 期末試験などを総合して評価する。 | 【履修上の留意点】 予習・復習を行うこと。授業中の私語や携帯電話の使用は禁止する。 実習を行う場合には動きやすい服装(Tシャツ, 短パン, ジャージ等)とする。 ※進行状況によっては補講を行う場合もある。 | | | |